



### 1. おかげさまで50回目となりました

RM&FPニュースもおかげさまをもちまして第50号の発行を迎えることになりました。これも、読者である皆様のご支援の賜と思います。

皆様に来訪した時に、あの掲載した記事は役に立ったとか、勉強になったなどといわれますと、ほんとにありがたく感謝いたしているところです。

もっと読みやすい紙面を作りたいと思っている次第ですが、スキル不足と時間不足という状況下では、思うような改善を図ることは、現時点で困難となっています。

しかし、いつかは改善をしていきたいと思ってますので、このスタイルのままで今しばらくはご覧いただければ幸いです。

その分内容は充実したものにしていきますので、よろしくお願ひ申し上げます。

ここで、50回発行記念として同封のアンケート用紙に、当社に対し「期待すること」「ご要望」「改善点」「励まし」等々ご記入のうえFAXまたは担当者に渡していただきまると、抽選で10名さまに、すてきなプレゼントを進呈いたします。

FAX 023-654-8831（事務所移転後は下記の番号にお願いします）

なお事務所を移転（8月6日開設予定）することになりましたのでご連絡します。

場所は天童市東長岡2丁目1-34 サウンドコーポ103

電話番号 023-658-3512

FAX 023-658-3513

### 2. 日本周辺の海水温度が急上昇

日本周辺の海面水温が過去100年間で、世界の平均値と比べて、最大で3倍強の0.7～1.6度暖かくなっていることが気象庁の観測で明らかになりました。

日本の地上の気温上昇率（100年で1.1度）とも合っており、気象庁は「二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）など温暖化ガスの排出増などで大気の温度が上がり、海面がその影響を受けたのでは」とみています。

1900～2006年の観測データをもとに平年との差を調べ、100年当たりの上昇率に換算しました。

100年で1年間の平均海面水温が最も上がったのは佐渡島北方の海域などを含む日本海中部です。世界の海洋平均（100年で0.5度上昇）の3.2倍にあたる1.6度上昇しました。

気象庁によりますと、海面水温が上昇すると日本の南の上などで熱帯低気圧が発達しやすくなり、今までに経験したことの無いような強い台風に見まわれる恐れがでてきます。

また、観測史上熱帯低気圧が発生しなかった、南大西洋ブラジル沖でついに熱帯低気圧が発生したり、北米においてもハリケーン「カトリーナ」級の超大型で勢力の強い熱帯低気圧の発生が多くなっています。

今回日本海沖の海面水温が大きく上昇した事は、災害にあまり見まわれることがなかった山形県にも、想定外の台風が襲来するリスクが増大するものと思われます。

### 3. 長期金利が上昇

6月前半、世界の長期金利が上昇しました。

日本においては、長期金利の指標となる10年物新発国債の利率が一瞬ではありましたが1.95%を超えたこともありました。1.60%台からいっきに1.90%となりましたが、今のところ1.80%～1.90%台で落ち着いています。

それ以上に長期金利が上昇したのは米国の長期金利です。

米国でも10年物国債はしばらくの間4%台（3月13日には4.49%）で推移していましたが、5%を突破しました。日米の金利差はここにきて3%以上となりました。

その米国債10年物では瞬間に5.30%とFF金利（フェデラルファンド：米国の政策金利）の5.25%を超えたときがありました。

その後長期金利上昇に一服感がでていますが、5%台をキープしています。

その背景として、世界経済の堅調さが再認識されたことが挙げられます。

米国においても3月頃景気減速観測がでたものの、その後の経済データでは、米企業の海外部門が好調で高い増益率を維持し、心配された設備投資の冷え込み懸念が後退しました。

消費も底堅さがみられました。FOMC（米連邦公開市場委員会）での政策金利が据え置かれると観測されています。

ただし、米国における長期金利上昇は住宅市場にとって2つのリスクが増大します。

1つ目は住宅販売の鈍化を招きます。

2つ目はサブプライム（信用力の低い人向け）住宅ローンの不良債権化が住宅ローン会社の損失を拡大する要因となります。

同様にリートなどの不動産証券にもマイナス要因となります。

しかし、長期金利の上昇は悪いことだけではありません。

保険や年金商品の積立利率が上昇し運用益が増加したり、保険料が安くなったりします。

日本においても、一時払い養老保険や一時払い終身保険の予定利率を引き上げる動きが出てきますが、まだまだ1%台の域を超えることはありません。

米ドルベースの一時払い年金、終身、養老保険の積立利率が5%を超えていました。

表示している積立利率は商品によって、月に1回または2回変更されますが、いったん契約した時期の積立利率はそのまま固定されます（終身タイプは15年ごと変更するのもあります）。

現在、5%を超える積立利率で長期に運用することができますので、まさに千載一遇のチャンスといえます。

以前から述べていますが、高い金利の場合、できるだけ長く金利を固定することが運用の極意といえます。それとは逆に低金利の時は変動金利、または短期間の運用が向いています。

ここで、複利の効果、利率と時間の一覧表をご覧ください。

運用期間	利率3%で複利運用した場合		利率5%で複利運用した場合	
	年平均利回り	受取倍率	年平均利回り	受取倍率
5年	3. 18%	1. 15倍	5. 52%	1. 27倍
10年	3. 43%	1. 34倍	6. 28%	1. 62倍
15年	3. 71%	1. 55倍	7. 19%	2. 07倍
20年	4. 03%	1. 80倍	8. 26%	2. 65倍
25年	4. 37%	2. 09倍	9. 54%	3. 38倍
30年	4. 75%	2. 42倍	11. 07%	4. 32倍

年平均利回り：1年当たりの利回り（総利息÷元本×100÷年数）

一般的にいう利率と保険商品の積立利率は違いますので、保険商品の場合、手取額から算出した実質的な年平均利回りを計算することが必要です。

不明な点がございましたら当社までお問い合わせください。

ご覧のとおり同じ利率でも期間が長いほど年平均利回りが高くなり、有利となることがわかります。5%の利率でも30年間運用すれば、1年当たり約11%もの利息が付くのと同じ効果があります。

運用のコツは、すぐには使用しなくても良い（長くおける）資金をいかに作るかです。

時間を味方に付けた運用は、リスクが限りなく軽減し、大きく増やすことが簡単に出来るのが特徴となります。ただし、低金利で固定する事は得策ではありませんので、せめて3%以上の利率で複利運用するのがベターだと思います。

#### 4. 新商品情報

①アリコジャパンより新タイプの医療保険が発売されました。

生存還付給付金付終身医療保険「リターンボーナス」です。

支払った保険料相当額が実質全額戻りながらも、一生涯の医療保障は続くという新しいコンセプトの医療保険です。

詳細は同封のパンフレットをご参照、または当社までお問い合わせください。

②あいおい損害保険「積立いろいろ物語」（積立スタンダード傷害保険）

この積立保険の大きな特徴は補償部分に、従来型の「普通傷害保険」ではなく「スタンダード傷害保険」を採用したことにあります。

「普通傷害保険」では被保険者の職種により、1級～3級までの3段階の職種級別がありました。危険な職種が多い3級職の保険料が最も高くなっています。

しかし、このスタンダード傷害保険は職種による保険料に違いがありません。

さらに従来最も安い1級職並みの保険料水準で、1入院が事故日から1095日以内と長期補償が可能となります。通院も事故日から1095日以内の通院日数（最高90日）と今までにない長期の補償が特徴です。

また、所得補償、携行品損害、賠償責任、ホールインワン等々オプションもさまざま取りそろえていますので皆様の必要な補償を構築することができます。

### ③あいおい損害保険「賠償責任総合保険」

事業活動におけるさまざまな賠償責任リスクを包括的にカバーする保険です。

- \*施設・設備等に関する事故
  - \*業務遂行に関する事故
  - \*生産物（製造・販売した製品・商品）に関する事故に包括的に対応する保険となります。

対象業種は、製造業、販売業、飲食業、建設業（建設サービス業（加入できない業種があります

## 5. 事務所を移転します

平成6年4月の開業より、荒谷の事務所にて営業を続けて参りましたが、スタッフも増え  
大変狭となり、事務所を移転する事にしました。

開業当時は個人代理店「山形安全情報企画」として営んでまいりました。

この「RM&FPニュース」もその時代から開始をして現在に至っています。

現在では法人化して社名も「(有)FPコンパス」となり、陣容も大きくなってきました。

それも皆様のご支援とご指導の賜と思っています。

移転開店予定日 平成19年8月6日(月)

移転先は 天童市東長岡2丁目1-34 サウンドコーポ103

電話番号 023-658-3512

FAX 023-658-3513

従来の業務に加え、資産形成・運用相談と住宅ローン相談業務をスタートします。

皆様の夢の実現そして家計のサポートをするため、また、企業の財務的リスクの対策にお役に立ちますよう努力いたしますので、これからもご支援賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

6. 土赤 妙（つちあか たえ）さんが仲間に加わりました

当社の事務スタッフとして、土赤妙さんが7月より入社しました。

今後、皆様の電話等に彼女の声を聞くこともあるかと思います。

しかし、保険業界には全く従事していませんので、わからないことも多々あろうかと思いますので、温かい目でご対応していただければ幸いです。



発行者 有限会社 FPコンパス 武田幸夫

藤井義容、木村正照、阿部信、高橋治子、五島清次郎、高橋詔之

深瀬幸子、多田恵子、土赤妙

〒994-0054 山形県天童市荒谷2589

TEL 023-654-8831 FAX 023-654-8832

E-mail tide@mm.neweb.ne.jp